

新城市民病院 研修レポート

豊橋市民病院 研修医

4週間という短い期間ではありますが、総合診療に従事させていただきました。豊橋市民病院の研修ではできない経験や、新たな気づきが得られ、とても充実した研修となりました。お忙しい中、丁寧に指導して下さった先生方にお礼を申し上げたいと思います。

総合診療科の初診外来では、検査をオーダーする前に上申することで、なぜその検査を行うのかという基本的なことについて改めて考え直すことができ、その日の終わりに行う振り返りでフィードバックをいただくことで、病歴聴取と身体診察は十分か、そもそも取った所見にどんな意味があるのか、それに対してどんな疾患を想起するかも深く勉強し直すきっかけになりました。

自分が初診外来で診察し、入院となった患者さんを退院するまで診させていただくことで、多くの基礎疾患をもつ高齢者の治療を経験できただけでなく、退院に際して家族や社会福祉施設との連携が重要だということも改めて感じました。また、入院適応でなく経過観察となった患者さんも、ERでの診療では翌日の外来医師にお任せしてしまうところを、自分でフォローし、症状がよくなっていくのを見ることができるとい嬉しさを感じました。一回の診察で原因がわからない症状に対しても、経過を見ることで原因がわかるということも体感しました。これまでは、入院が必要かそうでないかというものさしでしか物事を判断していなかったため、健診異常を指摘されて受診する患者さんの精査や、生活習慣病に対する生活指導も含め、総合診療の奥深さや難しさを感じるとともにやりがいを感じることもできました。

診断や治療の際に感じた疑問に対し、論文を検索し、抄読会でその信憑性を専門の先生の指導の下で吟味し議論することで、EBMの手法の入り口について学ぶことができました。総合診療において、論文の知見を実際の診療に適応させることができるかを判断する能力は重要で、より幅広い知識が必要とされると感じました。

医師の比較的少ない新城市民病院や、医師が一人しかいない作手診療所では、看護師をはじめ、放射線技師、理学療法士、ソーシャルワーカーなどコメディカルの方々の協力が厚く、地域医療はいろいろな職種の方々に支えられて成り立つものだと強く感じました。

短い期間ではありましたが、このようにたくさんのことを学び、感じ取ることができました。この経験をこれから自分が行う医療に役立てられるように努力してきたいと思います。指導いただいた先生方、コメディカルの方々、本当にありがとうございました。